

デ

デスクトップとモバイル端末の垣根を越えた情報の共有を実現したグループウェア・ソリューション「Open-Xchange」

- ネクスト・イットが提供している「Open-Xchange」は、Webブラウザベースで様々なプラットフォームと連携することができ、
- きるグループウェア・ソリューション。Open-Xchangeの画面（インタフェース）とスマートフォンとの間で、同じ予定、連絡先、メールを見ることができ、どこで変えても直ぐに反映されるので、デスクトップとモバイル端末の垣根を越えた情報共有が可能だ。

情報化に必要な機能を一括提供

組織の簡素化やコミュニケーションツールの発展により、企業規模の大小に関わらず、最低限の情報化は不可欠なものになっている。また、クラウドコンピューティングやモバイル化への対応策として、確実な情報伝達や共同作業での他社とのコミュニケーションを円滑にするツールの導入・整備が求められている。このようなニーズに対応して、メール、スケジュール管理、ジョブ管理、ドキュメント管理など、企業の情報化に必要な最小限の機能を一括提供で簡単に利用できる製品として登場したのが、ネクスト・イットが提供している「Open-Xchange」だ。

Open-Xchangeは、企業が情報化に向けて最小限必要としているメール機能、スケジュール機能、タスク管理、ドキュメント共有などを一括に提供し、加えて、コストパフォーマンスも実現したグループウェア・ソリューションである。数百万ライセンス規模での使用と、同時使用と

して、数十万にでもスムーズに活用できるよう設計されており、情報化に必要な次のような機能が用意されている。

◆標準的なグループウェア機能を搭載：企業が要求するグループウェアの機能（メール、連絡先、予定表、仕事、ドキュメント共有）を搭載。

◆標準的なインターネットブラウザをサポート：対応ブラウザは、Internet Explorer7以上、FireFox2以上、SeaMonkey1以上、Apple Safari3以上、Google Chromeなど。

◆AJAXベースのブラウザ（ユーザーインタフェースでデスクトップ感覚の操作感）：AJAXベース（Asynchronous JavaScript+XML）のデスクトップで使用しているようなシームレスで快適な操作感をブラウザ内で実現。情報の更新等についても最小限のサーバ負荷でパフォーマンス向上を実現。

◆チーム作業を可能に：グループウェア機能の予定表、仕事、ドキュメント共有は、個人をはじめ様々なチームが利用可能。

◆マイクロソフト Outlook、

◆MacOS X との統合：Microsoft Outlook クライアントとの同期や Mac アプリケーション（Mail、iCal、AddressBook）との同期を標準装備。現状の資産を継承しながらコストパフォーマンスの向上を実現。

◆マイクロソフト Exchange Sever からの移行ツールを完備：Microsoft Exchange Severからの移行には、構築時間の短縮、資産の継承が可能な移行ツールを無償で準備。

ニーズに合わせたライセンス体系と万全のサポート体制を用意

Open-Xchangeの製品ラインナップとして、ネクスト・イットでは、データセンターがSaaSとして、サービスで展開するOXホスティングエディション版とアドバンスエディション版、企業が独自で運用できるOXサーバエディション版の3タイプを用意している。また、パラレルス社の自動化プラットフォーム「Parallels Operations Automation (OPA)」上で稼働するサービスモジュールとしての提供も可能だ。このOPAを使用することで、効果的

に収益性の高いエンド・ツー・エンド自動化プラットフォームを実現することができる。

サポートについても、登録された管理者の方々からの問い合わせを、ネクスト・イットのサポートセンター（RiMIC：Risk Management Information Center）が、標準で24時間365日、電話、メール、FAX等で対応している。

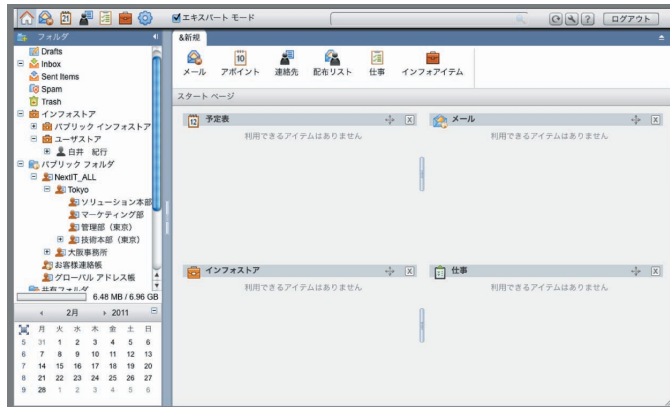


図1 「Open-Xchange」のスタート画面

多彩なモバイル機器にも対応

また、Open-Xchangeの大きな特長として、Webベースの利点を生かして“いつでも、どこからでも”様々なモバイル機器に対応できることがあげられる。Open-Xchangeは、メールを中心としたプル型でのモバイル機能を標準で装備しており、SyncMLフォン、BlackBerryおよびシンビアンスマートフォンなどのデバイスに対応している。さらに、モビリティオプションを使用することで、グループウェア全ての機能とプッシュ型でのメール使用を可能にした。これにより、標準対応デバイスに加えて、ウィンドウズモバイル搭載デバイスやiPhone、iPadなど、約300機種への対応が可能になった。

図1は、グループウェアを動かす起点となるOpen-Xchangeのスタート画面である。表示されているアイコンから、メール、カレンダー（予定表）、連絡先、仕事（タスク）、インフォストア（ファイル共有）などのモジュールを開き、作業を行っていく（図2参照）。各モジュールで

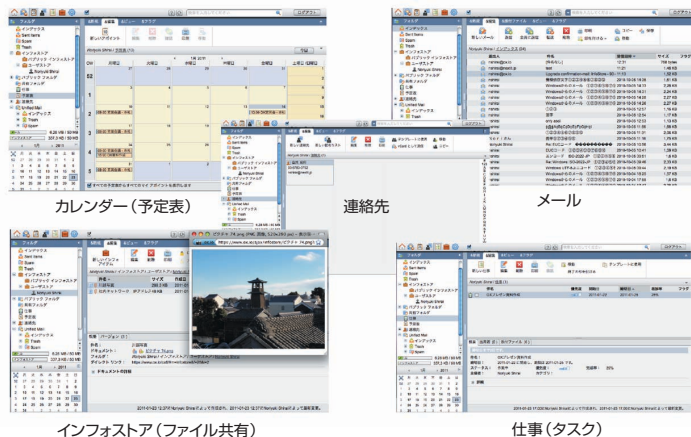


図2 「Open-Xchange」の各モジュール

は、次のようなことが行える。

- ・メール：メッセージ表示／メッセージの送信／メッセージの管理
- ・カレンダー（予定表）：予定表とアポイントの表示／アポイントの作成／予定表とアポイントの管理
- ・連絡先：連絡先の表示／連絡先の作成／連絡先の管理／連絡先を送信リストと組み合わせる
- ・仕事（タスク）：仕事の表示／作成／管理
- ・インフォストア（ファイル共有）：インフォストアエントリとして保存された情報を「蓄積したり」「見たり」することができる。また、

インフォストアエントリを「表示」「作成」「管理」することができる。

スマートフォン等のモバイル端末は、Webブラウザを介してインフォストアにアクセスすることで、メール、カレンダー、連絡先などを見ることができ、内容を変えても直ぐに反映させることができる。

●お問い合わせ先●

ネクスト・イット(株)
 ソリューション営業本部
 TEL：03-5783-0702
 E-mail：sol@nextit.jp
 URL：http://www.nextit.jp/